



株式会社ユニカフェ

2024年度 サステナビリティレポート



## ○ユニカフェグループが考えるサステナビリティ

- ・はじめに
- ・推進体制

## ○2024年度の取組み

- ・マテリアリティマップ(重要度評価)
  - ・ユニカフェグループのマテリアリティ
- 1.気候変動・自然環境改善への貢献
  - 2.持続的なサプライチェーンの維持
  - 3.高品質な製品・魅力的な価値提供
  - 4.多様な人材の活躍と連携
  - 5.コーポレート・ガバナンスの徹底



## はじめに

ユニカフェは、企業理念に掲げる「人と環境に優しい企業」を目指しています。コーヒー産業を取り巻く人と環境には、国際価格に左右されるコーヒー農家の収入、強制労働や児童労働など人権侵害の可能性を孕んだ就業環境、また栽培から消費に至るまでの温室効果ガスの排出、気候変動による生産環境の悪化などの問題があります。これらの問題はSDGsの目標とも深く関連しており、優先的に取り組む必要があると考えています。

ユニカフェグループは、「Think Globally As a Roastery」のスローガンのもと、持続可能な社会の実現に向けた重要課題を経営戦略に紐づけて取り組んでいます。

## Think Globally As a Roastery

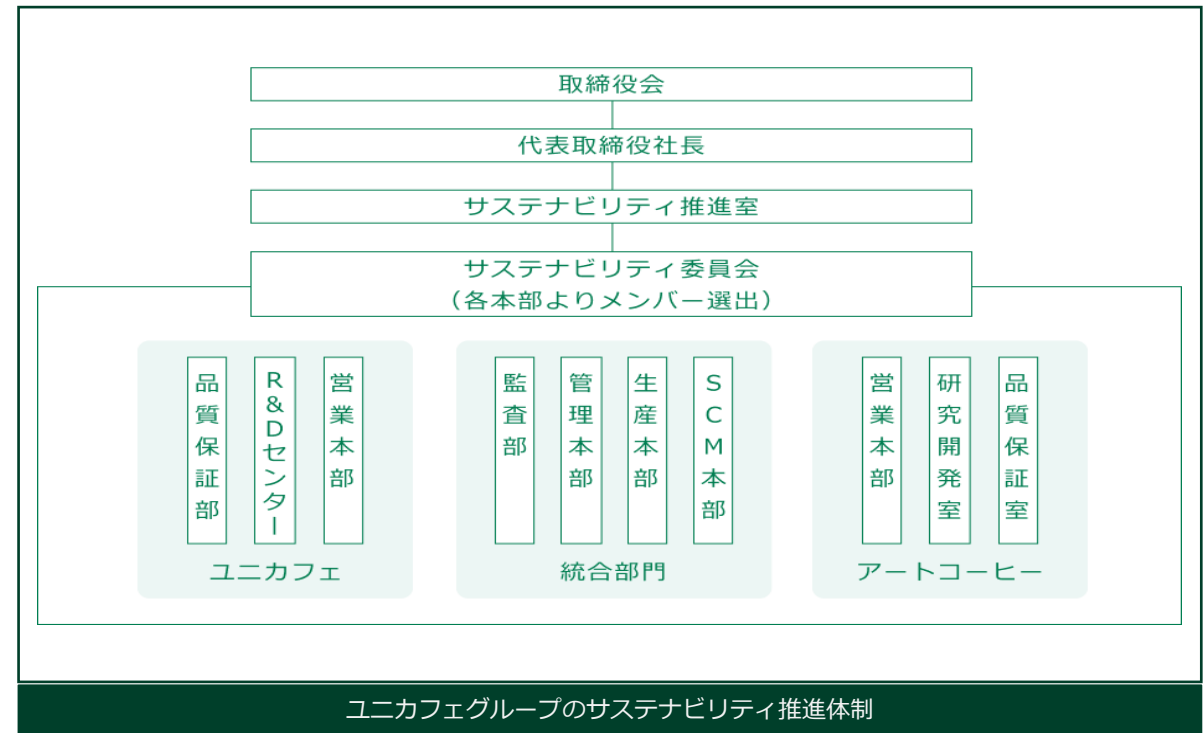


## 推進体制

ユニカフェグループでは、サステナビリティへの対応を全社的かつ組織横断的なものとし、円滑かつ効果的に推進することを目的として、右図のようなサステナビリティ推進体制で活動を行っています。

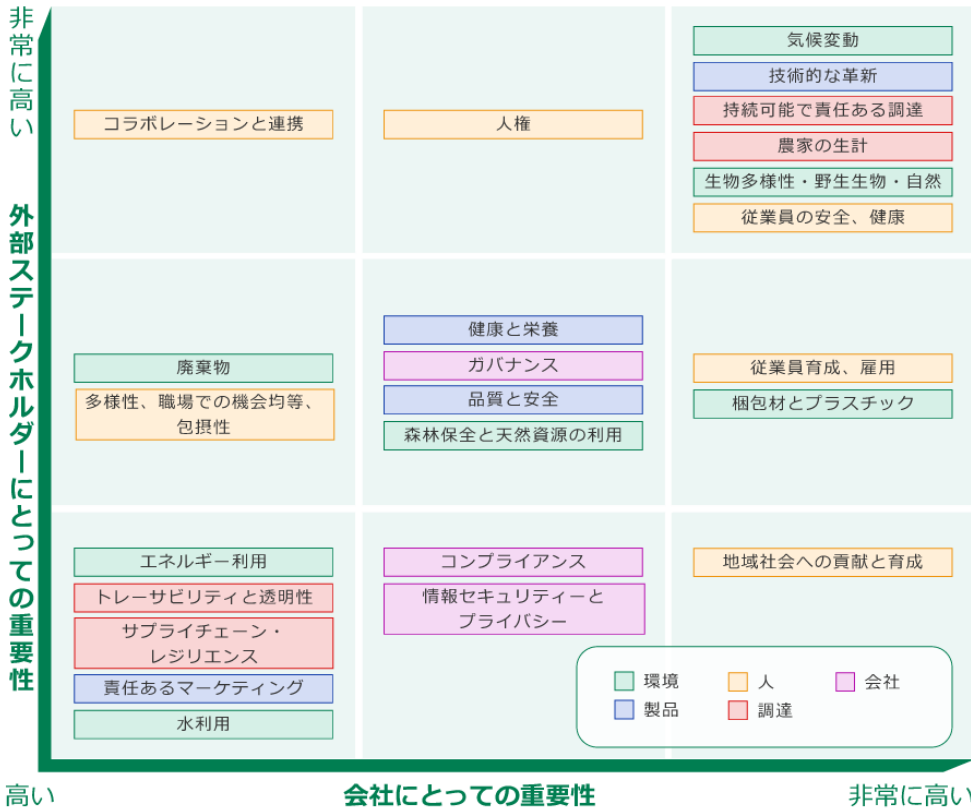
活動の運用管理をサステナビリティ推進室が行い、具体的な取り組みの遂行は各本部からメンバーを選出したサステナビリティ委員会が行います。推進室と委員会で定期的に進捗報告会を行い、連携を図っています。

委員会での検討結果は適宜取締役会へ報告の上、経営戦略として反映していきます。



マテリアリティマップ(重要度評価)

ユニカフェグループでは社内・社外にとっての重要性を2軸として重要度を評価し、マテリアリティ・マップを作成しました。検討したどの課題も、社会的な重要度は高いため、評価軸の幅は最低でも“高い”となっています。そのため、対応する課題を絞るのではなく、優先度をつけてすべてに対応する姿勢をとっています。



ユニカフェグループのマテリアリティ

様々なプロセスを経て、5つのマテリアリティを策定しました。

|                    |                                                                                        |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 気候変動・自然環境改善への貢献 | 気候変動リスクを緩和し、自然環境を改善するためにできることを実施します。                                                   |
| 2. 持続的なサプライチェーンの維持 | コーヒー産業の維持・発展のため、サプライチェーンの現状を見つめ、未来に向けた再構築を行います。                                        |
| 3. 高品質な製品・魅力的な価値提供 | お客様・消費者の方々に寄り添い、時代に合った価値を提供できるよう製品や新分野の開拓に努めます。                                        |
| 4. 多様な人材の活躍と連携     | ユニカフェグループに関わる誰もが心身ともに健康的に人生と仕事を両立できるよう、生産地、従業員の人権を守り、パートナー様、地域の方々などにより良い影響をもたらすよう努めます。 |
| 5. コーポレート・ガバナンスの徹底 | 全てのステークホルダーのために、自律的に、かつ透明性を持って統制します。                                                   |

# 1.気候変動・自然環境改善への貢献

## ユニカフェグループが目指す姿

コーヒーは、栽培時の気温や降雨量に生育が大きく左右される作物であり、気候変動による課題を多く抱えています。ゆえに気候変動への対応は、産業そのものの維持発展に大きく影響する重要課題です。

ユニカフェグループは、異常気象や自然災害の原因となる気候変動を緩和し、また自然への負荷を低減・回復させることに貢献する取組みを行い、持続可能な社会の実現を目指します。

## GHG排出量を削減する

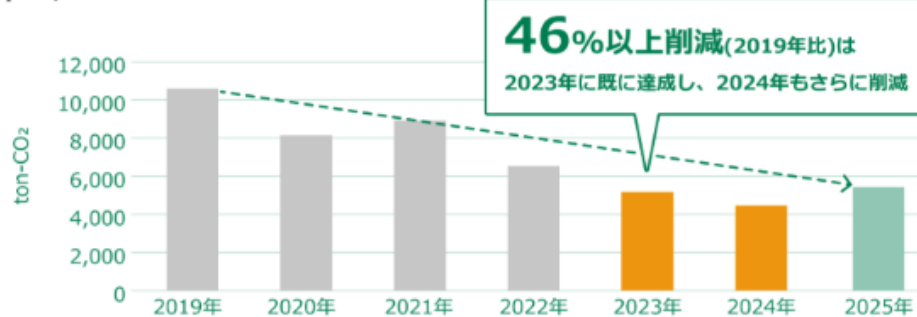
目標：事業活動によるGHG排出量削減（基準年：2019年比）

2025年：Scope1・2 46%削減

2040年：Scope1・2・3 カーボン・ニュートラル

事業活動によるScope 1・2のGHG排出量を2025年までに46%以上削減するとの目標につきましては、2024年末において57.6%を削減することができました。引き続き、2040年度のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

Scope1,2排出量の実績値と目標値



## 2024年度の取組み

### 水性フレキシソ印刷の導入

製品パッケージとなるフィルム印刷において、一部の製品に水性フレキシソ印刷を導入しました。

水性インキは溶剤の代わりに水を使用するため、インキ溶剤乾燥時に排出される揮発性有機化合物(VOC)がほとんど排出されません。また、インキ使用量も少なく済むため、乾燥時の使用エネルギーも削減できます。従来の印刷方式に比べて環境負荷が少ないことから、今後も導入商品の拡充を目指してまいります。



## 2024年度の取組み

### オーシャンバウンド・プラスチックを原料とするパレットへの切替え

2024年度より、工場での製品保管、輸送時に使用するパレットを、OBPパレットへ順次切り替えています。

OBPとは、オーシャンバウンド・プラスチックの略で、海洋ごみとなる手前の海岸から約50km以内の内陸部に廃棄されているプラスチックのことです。このOBPを回収し、一部原料として再利用した輸送用パレットを使用することにより、新たな石油由来のプラスチックを使用せずに済み、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながるとともに、海洋汚染の改善にも貢献できる取り組みです。

ユニカフェグループでは、2030年までに工場で新たに購入するすべてのパレットをOBPパレットへ切り替える予定です。

現在工場で使用中的パレットを製造する際のCO<sub>2</sub>排出量を比較すると、OBPを一部使用した再生材料では、通常のバージンプラスチックを使用した場合と比べて約64%ものCO<sub>2</sub>排出量削減につながります。



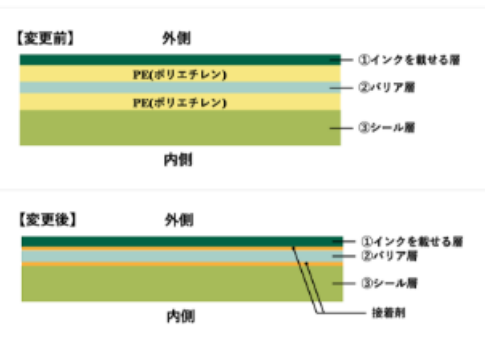
## 廃棄物削減及び資源循環を行う

目標：自社製品に使用する包材を順次環境包材へ切替え

2024年度の実績

### 包材の薄肉化

コーヒーの包材は、いくつかの層が重なって出来ています。安全に製品をお届けするために不可欠の包材機能はそのままに、各層の接着剤として使用されていたPE(ポリエチレン)を、プラスチック由来でない接着剤へ切り替えることで、品質はそのままにプラスチック使用量を削減いたしました。



| 内容量  | プラスチック削減率 | CO2削減量 |
|------|-----------|--------|
| 100g | 約30%      | 約15kg  |
| 250g | 約30%      | 約18kg  |
| 500g | 約39%      | 約46kg  |

2024年度の実績

### 一部に紙を使用した包材の導入

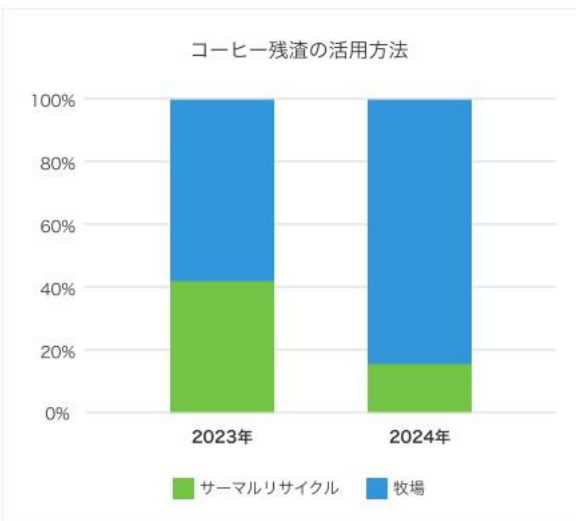
神奈川総合工場のドリップバッグ製造ラインにて、一部紙素材を使用したドリップバッグ製品を製造できるようになりました。様々な検証を経て、これまでの包材と同等の品質、製造効率を保持しつつプラスチック使用量を削減でき、紙マークをつけて販売が可能となります。2024年はお客様からの受注製品で初めての製造が実現しましたが、今後自社製品への導入を目指してまいります。

目標：コーヒー残渣のリサイクル率 2030年 100%

2024年度の実績

### 牧場での再利用

製造工程で生じるコーヒー残渣は、磯沼ミルクファーム様、服部牧場様が経営する牧場に提供して再利用しています。コーヒー残渣は牛舎の敷料にすることで牛たちの生活空間を快適にするとともに、牛舎内の臭いを和らげる効果があるため近隣地域の環境維持にも貢献しています。また、磯沼ミルクファーム様では敷料として使用済みのコーヒー残渣と牛糞を混ぜて堆肥を生産・販売しています。牧場で再利用していただくことで、コーヒー残渣は土に還り、他の農作物を育てる循環が作られています。



## 2.持続的なサプライチェーンの維持

### ユニカフェグループが目指す姿

「From seed to cup」 - 遠く離れた生産地から、皆さんのマグカップにコーヒーが注がれるまでの間、コーヒーは様々な人の手を経て旅をします。

わたしたちは、最終工程の焙煎・販売業者としてサプライチェーンの鎖の一つを担っていますが、消費国の一員として、このサプライチェーン上の全ての人が当たり前に幸せにコーヒー産業に従事し続けられること、また誰もが気軽に品質の高いコーヒーを楽しみ続けられること、双方をサポートする責任があります。

ユニカフェグループは、自らの調達における方針を改めて明文化するとともに、ビジネスパートナーの方々と共に、持続的なサプライチェーンの維持に向けて協力して取り組んでいきます。

#### 2024年度の実践

### 責任ある調達原則の策定

ユニカフェグループは、消費国としての責任を果たし、コーヒー産業の発展に寄与すべく、調達に関する方針を定め、2024年から運用を開始しています。

#### 2024年度の実践

### サプライヤー行動規範の策定

コーヒー産業の維持発展のためには、わたしたちとつながる全てのサプライヤーの方々の協力が不可欠です。私たちと同じように、サプライヤーの方々に遵守いただきたい行動規範をまとめました。この行動規範にご賛同いただけるサプライヤー様とともに、今後の事業を行ってまいります。

#### 2024年度の実践

### 「苗木寄贈プロジェクト」による コーヒー生産者支援



コーヒーの木は病気や老化により収量が低下するため、安定的な生産には定期的な植え替えが必要です。

また、現在、価格変動、気候変動がコーヒーの栽培業の持続可能性を脅かしています。わたしたちは、生産者へコーヒーの苗木の寄贈を行うことで、生産国においてコーヒー豆の生産が継続的に行われるよう支援し、また寄贈したエリアのコーヒー豆を継続的に購入する「苗木寄贈プロジェクト」の取り組みを独自に行っています。

寄贈する苗木は気候変動に耐性のある品種を選択しており、この活動で苗木が徐々に置き換わることで2050年問題への対策にもなっています。

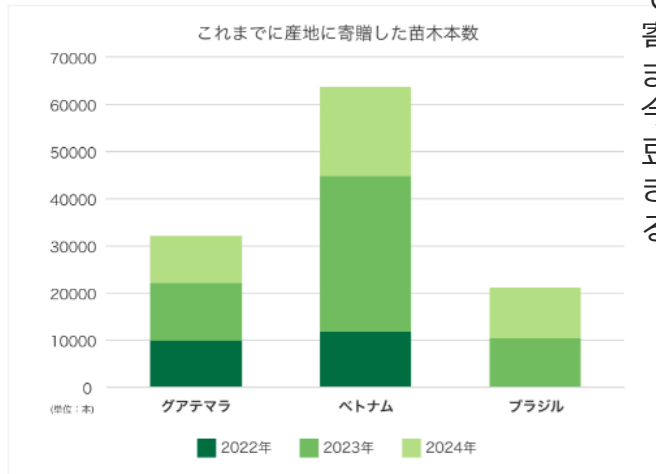


## 2.持続的なサプライチェーンの維持

2024年度の取組み

### 「苗木寄贈プロジェクト」によるコーヒー生産者支援：累計寄贈本数

累計本数：**115,960** 本



2022年から寄贈をスタートして3年、現在では、ベトナム、グアテマラ、ブラジルへの寄贈を行っており、寄贈本数は10万本を超えました。今後も同国に継続的な苗木の寄贈とコーヒー豆の購入を行うことを予定しており、引き続き産地での安定したコーヒー生産に貢献できるよう努めてまいります。



2024年度の取組み

### お取引先様へのサステナビリティ・セルフアセスメントの実施



ユニカフェグループでは、「ユニカフェグループの責任ある調達原則」、「サプライヤー行動規範」に則った調達を実施し、健全なサプライチェーンの維持に努めています。

2024年度より、一部主要なお取引先様にご協力いただき、サステナビリティ・セルフ・アセスメントを実施しております。アセスメントの実施により、主要お取引先さまのサステナビリティなどに関する取組み状況の確認とリスク把握を行っています。

#### 実施結果の概要

|        |                 |        |      |     |     |
|--------|-----------------|--------|------|-----|-----|
| 回答企業様数 | 96社             | 対象企業様数 | 157社 | 回答率 | 61% |
| 平均得点率  | 74%(満点を100%として) |        |      |     |     |

- ご協力いただいたお取引先様：一定金額以上のお取引があり、かつ複数年連続してお取引しているお取引先様のうち、各業種カテゴリの上位70%を占めるお取引先様
- カテゴリ：原料、商品、配送、製造、その他
- 設問項目：人権、労働、環境、公正な企業活動、品質・安全性、サプライチェーンなどに関する設問

アセスメントの結果は、お取引先様とともに成長していくためにフィードバックの上、状況の改善に向けた取組み支援や、コミュニケーション強化などにつなげてまいります。

### 3.高品質な製品・魅力的な価値提供

#### ユニカフェグループが目指す姿

わたしたちの事業を持続的に発展させていくためには、常に高品質な製品を安定的に供給していく誠実さが不可欠です。  
また、常にお客様や消費者の方々に寄り添った製品を提供するためには、時代や価値観に合わせて魅力的な製品をご提案する柔軟さも必要です。  
わたしたちは、皆様に高品質で安全・安心な製品を提供し、コーヒーを通して魅力的な価値をご提供するために努力し続けます。

#### 健康などに配慮した機能・高付加価値製品の提供

平均寿命が延び、少子高齢化が進む中、心身共に永く健康を保ち、自律した生活を送り続けることが、多くの人の願望となっています。コーヒーは人々の身近に、ごく当たり前にある飲み物の一つです。時には活力を、時には安らぎをもたらし、人々の笑顔とともにあるコーヒーで、健康を望む声にこたえられないだろうか？と考え、新たな時代への挑戦として、健康などに配慮した機能・高付加価値製品をご提供するべく、研究・開発を進めております。



ユニカフェグループが目指す姿

企業の発展は、従業員一人ひとりの活躍・成長とともに実現されます。ユニカフェグループが持続的に発展し、企業価値を向上していくために最も大切な資本の一つを「人材」と捉えています。自ら考え、行動できる人を育てること、また彼らがそれぞれの強みを見つけ、能力を発揮していく上で適切なキャリアパスを設定し、自ら実感を持って成長し続けられる環境・チャンスを提供できる人材育成を行ってまいります。

一方で、労働人口の減少や少子高齢化に伴う育児・介護の課題等、現代社会特有の課題もある中、個々人の人権が尊重され、多様性・それぞれのワークライフバランスを尊重しながら、安全・安心に働ける「職場環境」の整備も不可欠なものと考えております。

ユニカフェグループは、「人材」と「職場環境」を両輪で組織戦略として取り組んでまいります。

ユニカフェグループでは、多様な人材の活躍と確保を含む、人材の育成及び社内環境整備に向けて以下の指標を掲げ、取り組みを実施しております。

| 取り組み | 指標              | 目標      | 2024年度実績 |
|------|-----------------|---------|----------|
| 人材育成 | リスクマネジメント研修     | 年1回以上   | 1回       |
|      | コンプライアンス研修      | 年1回以上   | 1回       |
|      | 情報セキュリティ研修      | 年1回以上   | 1回       |
|      | 人権・ハラスメントに関する研修 | 年1回以上   | 1回       |
| 職場環境 | 管理職に占める女性管理職の割合 | 10%以上   | 9.3%     |
|      | 男性労働者の育児休業取得率   | 毎年50%以上 | 100.0%   |

人権尊重への取り組みを行う

2024年度の取り組み

人権・ハラスメントに関する教育研修の実施



ユニカフェグループ従業員としての人権への正しい理解と浸透の為に、ハラスメント講習等、人権に関する教育を実施しております。

キャリアビジョンを明確にした人材育成を推進する  
多様な人材が活躍できる労働環境を整備する

2024年度の取り組み

教育・研修制度の充実



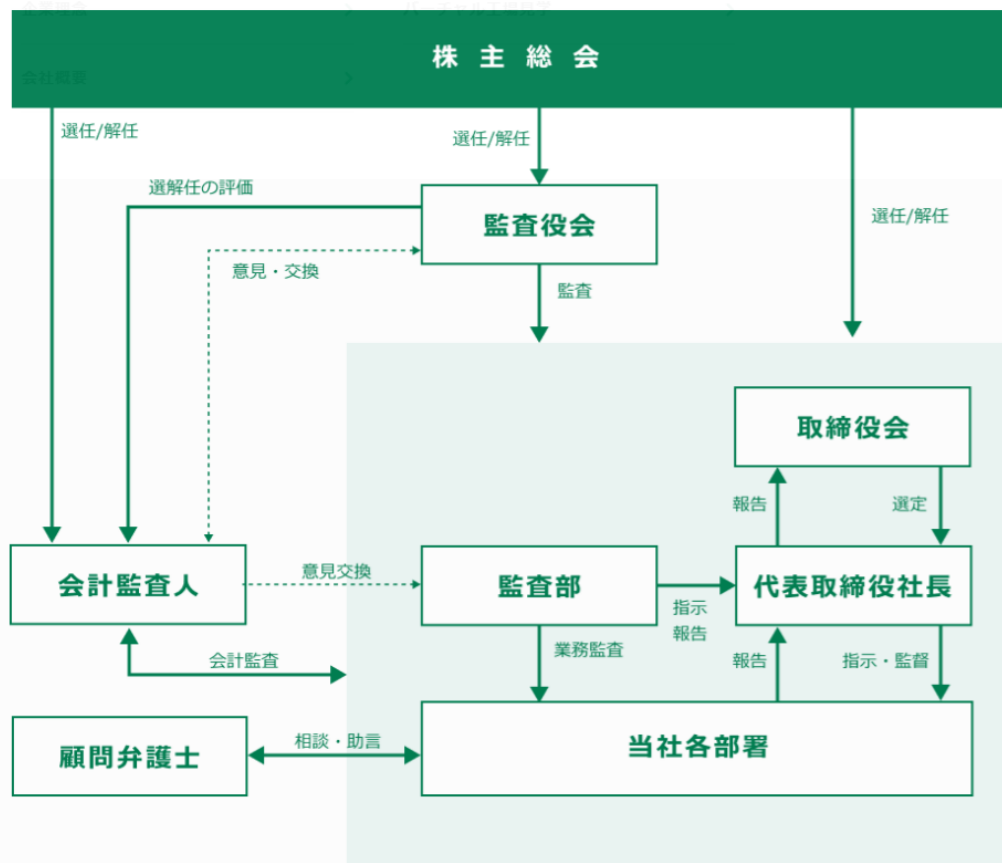
「人材育成」は経営にとって最重要テーマの一つであり、従業員の活躍・成長を促す為、等級・職位別研修体系図を定めております。具体的には、次世代人材育成のために選抜型教育研修やe-learningを用いた学習、自社資格「ユニカフェコーヒーマイスター」取得支援を全社で実施しています。世界的な課題であるSDGsの教育もサステナビリティ委員会を中心に行っています。また、委員会が毎月発行する「サステナビリティ通信」を通じて全従業員向けに情報を発信しています。加えて、神奈川総合工場では安全を徹底するために安全パトロールを実施する他、危機体感教育を含めた安全教育を実施しています。

## ユニカフェグループが目指す姿

ユニカフェは、株主を中心とするステークホルダーをコミュニティとし、そのコミュニティに存在する共通の善を全うすることを正義として行動してまいります。

ユニカフェは、企業価値を『株主価値・顧客価値・人財価値』の三要素から成るものと考えております。『企業価値の向上』はわたしたちの共通善のひとつであり、企業価値の向上を目的としてこれらの三要素の拡大に経営資源を集中することがわたしたちの正義と捉えております。さらに『存続すること（Sustainability；サステナビリティ）』をわたしたちの共通善のひとつとし、取締役会の活性化、監査役会及び内部監査制度の充実、適時適切な情報開示、投資家向け広報活動（IR活動）の活性化に注力することがわたしたちの正義と捉えております。

ユニカフェはこれら基本的な考え方を経営の拠り所とし、コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取組みを継続的に進め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図り、透明かつ健全な経営を全うしてまいります。



## リスクマネジメント

各種部門ごとの規定に則って、適切にリスク管理を行っております。

特に、製品の品質、コンプライアンス、情報セキュリティを重点リスクと位置付けて、常設会議体において、適宜、把握と対応に努めています。

## コンプライアンス

### コンプライアンス遵守

ユニカフェグループでは、事業に関わる各種法令を遵守します。

また、企業倫理や社会規範に則って誠実な事業運営を行います。

適切な運営のため、全従業員に対して年1回コンプライアンス研修を実施し、知識のアップデートを図るとともに、年1回コンプライアンス・ディスカッションで法令違反のケーススタディに則ったチームディスカッションを実施し、コンプライアンス遵守に対する意識を高めています。

## 情報セキュリティ

年1回の情報セキュリティ研修の実施とともに、不定期でウィルスメールを模したメールを配信し、研修の成果として適切な対処ができているか、確認と再教育まで徹底しています。



株式会社ユニカフェ サステナビリティ委員会  
2025年5月  
お問合せ先 : [sustainability@unicafe.co.jp](mailto:sustainability@unicafe.co.jp)